


歩いてみりん二十七曲り

～岡崎城下町二十七曲り整備計画～

三井理恵



岡崎市


武知郡 岡崎市 志古町

計画地域

→ N

岡崎市街地図

1:10000



まちなぎ

岡崎城下町


江戸時代の岡崎藩の城下町。岡崎城下町を中心として整備された城下町の基本を今も残している。大正11年(1920年)に岡崎城下町が合併して岡崎市となった。旧城下町は、旧城下町を中心とした岡崎市の中心部を形成している。旧城下町は、旧城下町を中心とした岡崎市の中心部を形成している。旧城下町は、旧城下町を中心とした岡崎市の中心部を形成している。

古蹟のまちなぎ

岡崎は藩政の中心地です。しかし、東海沿いの中心地として発展が期待されたから、藩政の中心地として発展が期待された。藩政の中心地として発展が期待された。藩政の中心地として発展が期待された。

寺堂としての寺院

岡崎の寺は、藩政の中心地として発展が期待された。藩政の中心地として発展が期待された。藩政の中心地として発展が期待された。



寺堂寺の法堂と奥庭

計画のフロー

```

    graph TD
      A[東海運沿いに栄える城下町] --> B[寺、歴史が失われつつある]
      B --> C[今も残る旧東海運岡崎二十七曲り]
      C --> D[二十七曲り整備計画]
      D --> E[● 二十七曲りを歩く]
      D --> F[● 特徴のある曲り角]
      D --> G[● 岡崎の歴史]
      D --> H[● 町屋の提案]
    
```

東海運沿いに栄える城下町 全盛期でも寺堂の繁華が、長がらみが多いのが特徴の旧東海運沿いに繁しむ町づくり

寺、歴史が失われつつある

今も残る旧東海運岡崎二十七曲り

二十七曲り整備計画

- 二十七曲りを歩く
- 特徴のある曲り角
- 岡崎の歴史
- 町屋の提案

計画の詳細

```

    graph LR
      Root[二十七曲り整備計画] --> A[まち歩き計画]
      Root --> B[町屋提案計画]
      Root --> C[町屋提案計画]
      A --> A1[サイン計画]
      A --> A2[道標・案内板]
      B --> B1[サイン計画]
      B --> B2[案内板]
      C --> C1[サイン計画]
      C --> C2[案内板]
      A --> D[サイン計画]
      A --> E[案内板]
      B --> F[サイン計画]
      B --> G[案内板]
      C --> H[サイン計画]
      C --> I[案内板]
    
```

まち歩き計画

- サイン計画
- 道標・案内板

町屋提案計画

- サイン計画
- 案内板

町屋提案計画

- サイン計画
- 案内板

まちなぎ

町屋整備計画

町屋のコンセプト

- 結果スペースの確保 (400sqm) コートランド (3階で高さ14mを標準)
- オープンスペースの確保 (400sqm) 5階で1つの中庭を共有

- 東側の防風 (400sqm) 地区内防風壁の立ち上げ 東側タイプ別の防風を組み合わせる

※ 長寿寺の地域活動からの協立 (400㎡) 地域活動拠点として子供部屋の専か、3階コミュニティより活用

二十七曲り資料館

阿比町への美の入口。
 町屋地からは少し離れた静かな住宅街。
 町の入口 (矢作川資料館) とは異なり、
 ガラスとコンクリートの近代的不透明。
 ニヤ曲りの道が書かれ「入口性」のある場所のため、
 門をイメージしたデザインを採用。
 右側の道、右へと曲っていくニヤ曲りの方向を暗示。
 フォワード2階部分は道と平行なガラス壁を立てた。

「歩いてみりん二七曲り」 498742 三井 理恵

